

西那須野ロータリークラブ:月井美好会員

## 牛舎施設 ユニバーサル化

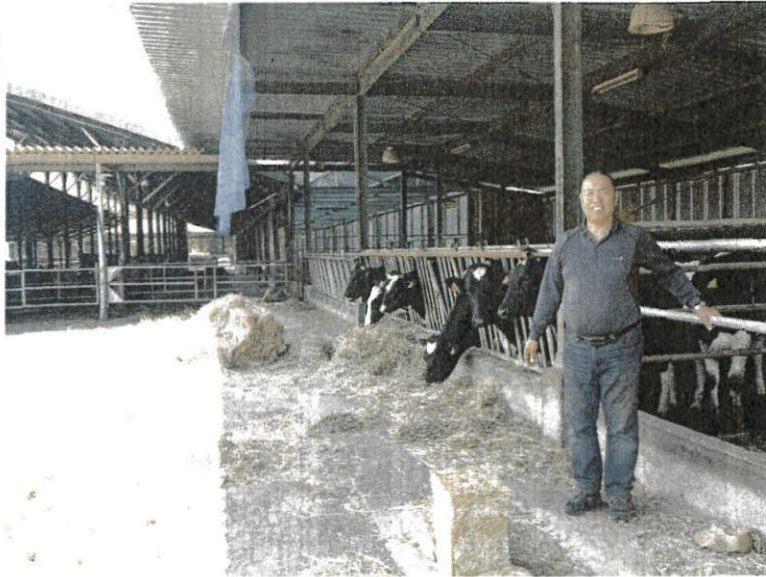
酪農・オリジナル乳製品販売を手掛けるハーレイ牧場（那須塩原市百村、月井美好社長）は、障害者も安心して働けるユニバーサル牧場として自社牧場を整備する。東南アジアへの販路

那須塩原の  
ハーレイ牧場

開拓も視野に入れた規模拡大に併せ、牛舎の搾乳スペースを車いすでも作業可能な造りにして、障害者を雇用する計画。自社の成長と共生社会の実現の両方を目指す。  
(田面木千香)

# 車いすでも搾乳可能に

同市関谷の第2牧場を  
ユニバーサル牧場に整備 広さ4400平方メートル。11



障害者も働ける牛舎の整備予定地に立つハーレイ牧場の月井社長

ポット搾乳機も導入する 目指す。が、人の手で搾乳するス 整備に伴う障害者雇用ペースは通路を広く取る については那須特別支援など、車いすでも作業で 学校に相談しており、月さるようにする。整備費 井社長は「来春、2、3人を雇用したい。牛のベッド掃除などを任せられるのでは」としている。

は3億5千万円。7月中旬に着工し、11月の完成を予定する。

整備に当たっては、日本政策金融公庫の融資のほか、栃木銀行などが創設した「とちぎん農業法人ファンド」から3010万円の出資を受けた。

現在、乳牛は第2牧場と同市百村の第1牧場とを合わせ270頭、売上高は月井社長の妻・千枝子さんが社長を務める乳製品販売のグループ会社「農福連携」が広がりつを含め、約1億8千万円 (2016年7月期)。 害者も生き生きと暮らせ2021年に乳牛約800頭、売上高約6億円を描いている。

## 11月完成、障害者雇用も

ハーレイ牧場は、良質な牛乳・乳製品作りに加え、日本農業法人協会が行う「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」に本県から唯一選ばれた。誰かが働きやすい職場づくりに率先して取り組んできた。障害者さんが農業の担い手となる「農福連携」が広がりつ